

# JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

担当支部	北海道支部	(2)記載者氏名: 海川 敏雄	会員番号:	10981	事務局整理記入欄	北海道 - 170
分水嶺区分	H215中山峠～H218雷電山肩～481m		(3)山行日:	2005年	4月 23日	(4)天候 曇り

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

海川敏雄	10981					
片岡次雄	12093					
計			2名			計
						名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	中山トンネル～雷電山肩～481m												
アプローチ:	函館～R228～中山峠												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	中山トンネル前	設計山	140	27	50.6	41	56	45.0	398		5:45		
分水嶺到達点 H215	中山トンネル上	設計山	140	27	31.7	41	56	52.6	400	6:00	6:05	B-4	(9)
H216	530m	設計山	140	27	24.7	41	56	41.5	533	6:20	6:25	B-4	(9)
	480m台地	設計山	140	26	36.1	41	56	8.8	486	7:55	8:00	B-4	(9)
	三町界	設計山	140	27	18.2	41	55	48.3	483	8:40	8:45	B-4	(9)
H217	539.9m	富里	140	27	26.0	41	54	56.3	544	10:10	10:15	B-4	(8)・(9)
H218	雷電山の肩	富里	140	28	25.9	41	54	2.1	573	11:40	11:45	B-4	(9)
	481m	富里	140	28	18.3	41	53	38.9	486	12:15	12:20	B-4	(9)
	(引き返す)												
分水嶺離別点 H217	539.9m	富里	140	27	26.0	41	54	56.3	544	14:25	14:30	B-4	(9)
歩行終了点	中山トンネル前	設計山	140	27	50.6	41	56	45.0	398	16:35			
総歩行時間(休憩時間を除く):											9時間50分		

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項
H216	530m				積雪のため三角点は発見できなかった。積雪約60cm
H217	539.9m				三角点は発見できなかった。

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

539.9mの頂上は雪が融けており、数の中を探したが、三角点は発見できなかった。

(9)水および植生に関連した特記事項

分水嶺上にはブナ・タケカンバ・ナラの大木が茂り、裾野や中腹一帯にトドマツが植えられている。

(10)その他の特記事項

中山トンネル手前(函館側)の工所用空き地に駐車し、トンネル上から 530 三町界(厚沢部・大野・上磯) 539.9 雷電山の肩 481 を踏査、その後 539.9まで引き返し、北東尾根を下降して、林道を歩き駐車地点へ。400～500mの低山が続き、沢が複雑に入り組み、分水嶺の確認の難しい山域だった。尾根を見誤り、30～40分ほど時間をロスしたが、何とか当初の目標を達成することができた。融雪が進み、尾根の南斜面は藪が露出していた。雪の融けた斜面にアイヌネギが芽を出し、カタクリが花を咲かせていた。分水嶺の踏査も今年は後わずかで、残り少なくなった… ことを感じた。積雪 30～60cm
--

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: